

平成 25 年度 ふるさと創生基金事業提案書（1）

事業名	第 4 回やまこし検定事業（継続事業）
実施主体	山古志地域ふるさと創生基金事業実行委員会
事業の概要	<p>【趣旨】</p> <p>山古志地域の由来歴史等についてまとめた『やまこしふるさとガイド』を主な出題元として実施。</p> <p>住民から地域の資源や魅力を再確認・再発見してもらい、地域の誇りを醸成する。また地域外の方からも知識を楽しく身につけてもらうことで、山古志ファンのさらなる増加を図る。</p> <p>【内容】</p> <p>山古志小中学生を対象にした検定と、一般の人を対象にした検定を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとガイドを中心に出題。規定数以上の得点者には合格証書、合格記念品を贈呈。 ・支所だより、市政だより、報道機関等を通じて地域内外から広く参加を募る。特に地域内に向けては、事業所や団体に対しても積極的に呼びかけ、受検者増に努める。 ・満点あるいは高得点をとった人には、特別な合格証書や合格記念品を贈呈する等、過去に合格した人からも再度受検してもらえるような動機付けを工夫する。 ・山古志小中学生に向けた検定については、先生方の協力を得て、学校を会場として実施する。 ・その他受検以外の取り組みの検討。
実施スケジュール	<p>平成 25 年</p> <p>7～10 月 検定の周知・参加募集 検定問題作成 合格記念品、合格証書の準備</p> <p>11～12 月 検定の実施</p> <p>12 月末 結果通知、合格認定証、合格記念品等送付</p>

平成 25 年度 ふるさと創生基金事業提案書（2）

事業名	スタンプラリー事業（継続事業）
実施主体	山古志地域ふるさと創生事業実行委員会
事業の概要	<p>【趣旨】 過去の事業で作製した散策マップと 4 種類のスタンプを利用し、地域を巡るスタンプラリーを実施する。多くの人から地域の店舗やイベントを巡ってもらい、山古志の魅力を PR するとともに、にぎわいの創出、活性化を図る。</p> <p>【内容】 4 地区（①種芋原 ②虫亀 ③竹沢 ④三ヶ、東竹沢）でスタンプを分けたラリーを実施する。 参加者には、地区ごとにどこかひとつお店を利用してもらい、スタンプを台紙に押しってもらう。 3 地区（3 種類）以上スタンプを集めた方に景品を贈呈。</p> <p>(1) 台紙の作製 ・スタンプ押印欄のほか、実施ルール、地域内地図、店舗所在地、営業時間等の情報がひと目で分かるような大きく見やすいものにする。</p> <p>(2) 実施にむけて ・市政だより、各支所だより、報道機関のほか、予算の範囲内でラジオなどのメディアを利用したイベント PR を行う。 ・地域内の店舗に声をかけ、実施ルール等を説明し、協力してもらえらる店舗を募る。</p>
実施スケジュール	<p>平成 25 年</p> <p>4～6 月 説明、協力依頼、台紙の作製、記念品の準備</p> <p>8～11 月 スタンプラリーの実施、記念品の贈呈</p> <p>12 月 抽選による特産品等の贈呈</p>

・ 24 年度作製スタンプ（4 cm×4 cm）



平成 25 年度事業の収支予算書

【収入】

(単位：円)

項 目	予算額	説 明
ふるさと創生基金事業負担金	1,220,000	
合 計	1,220,000	

【支出】

項 目	予算額	説 明
第 4 回やまこし検定事業	350,000	<ul style="list-style-type: none">・委託料 (合格証書、ポスター作製業務委託)・需用費 (合格記念品購入、消耗品費)・役務費 (通信運搬費、手数料)
スタンプラリー事業	780,000	<ul style="list-style-type: none">・委託料 (台紙、ポスター作製業務委託)・需用費 (景品購入、消耗品費)・役務費 (通信運搬費、広告料、手数料)
実行委員会運営費	90,000	<ul style="list-style-type: none">・委員謝金・事務用品費
合 計	1,220,000	